

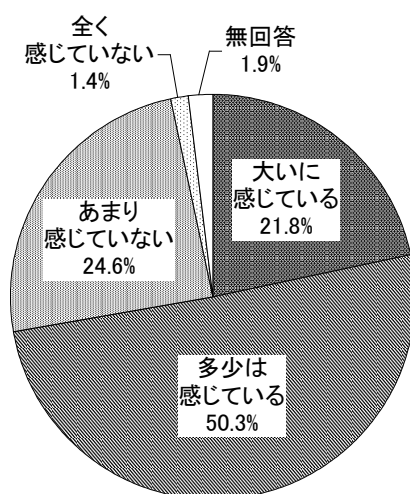
## 9 食の安全・安心について

### (1) 食品の安全性に対する不安

問29 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。  
次の中から1つ選んでください。

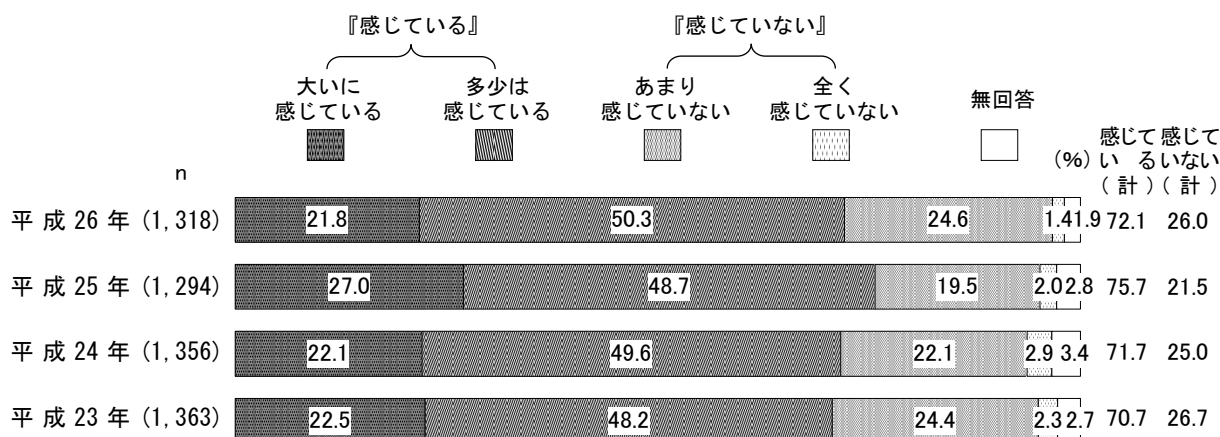
[n=1,318]

1	大いに感じている	21.8%	3	あまり感じていない	24.6%
2	多少は感じている	50.3%	4	全く感じていない	1.4%
				(無回答)	1.9%



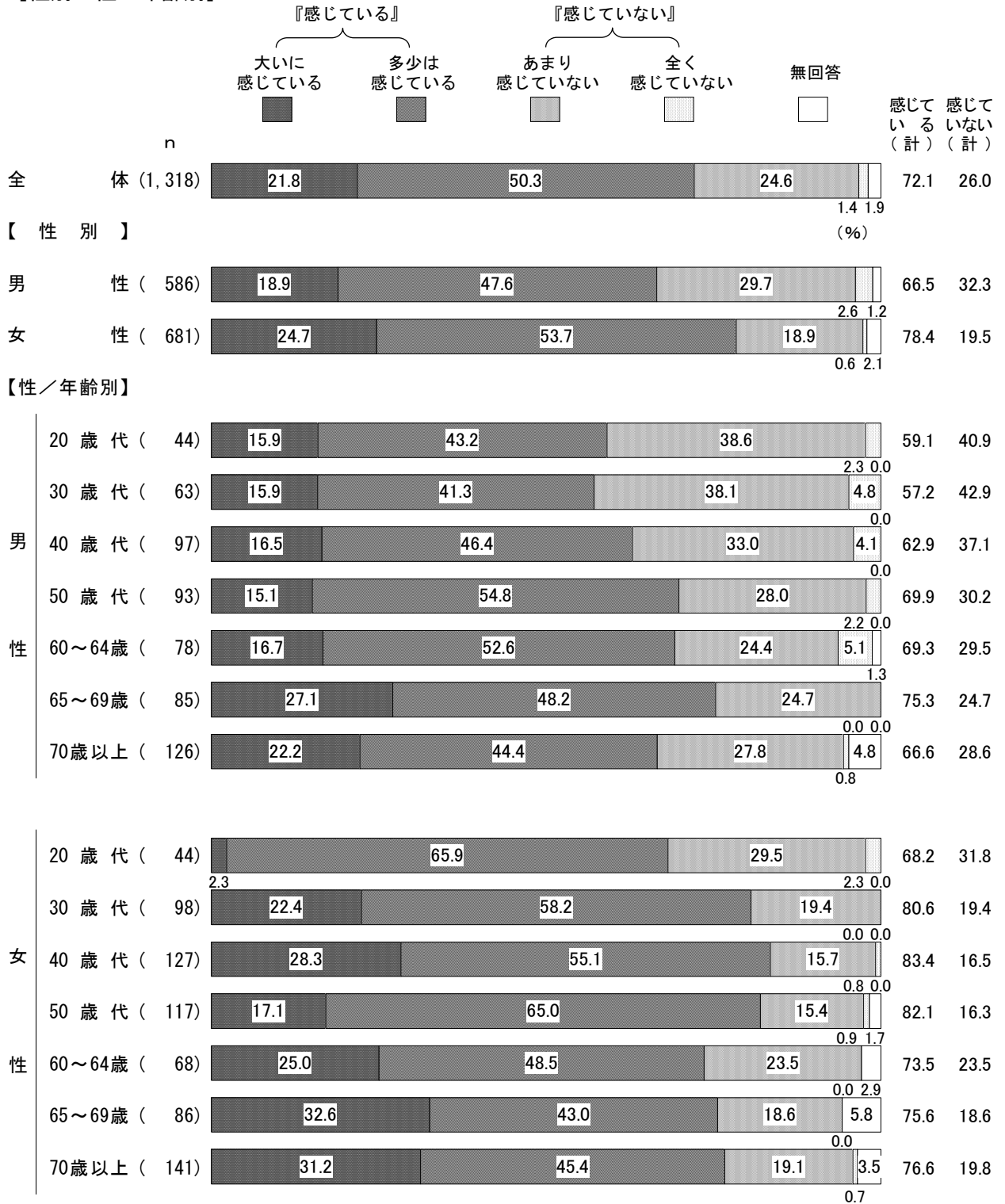
(n=1,318)

全体で見ると、「大いに感じている」(21.8%)と「多少は感じている」(50.3%)の2つを合わせた『感じている』(72.1%)が7割を超えている。一方、「あまり感じていない」(24.6%)と「全く感じていない」(1.4%)の2つを合わせた『感じていない』(26.0%)は2割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『感じている』が前回(平成25年)と比べて3.6ポイント減少している。

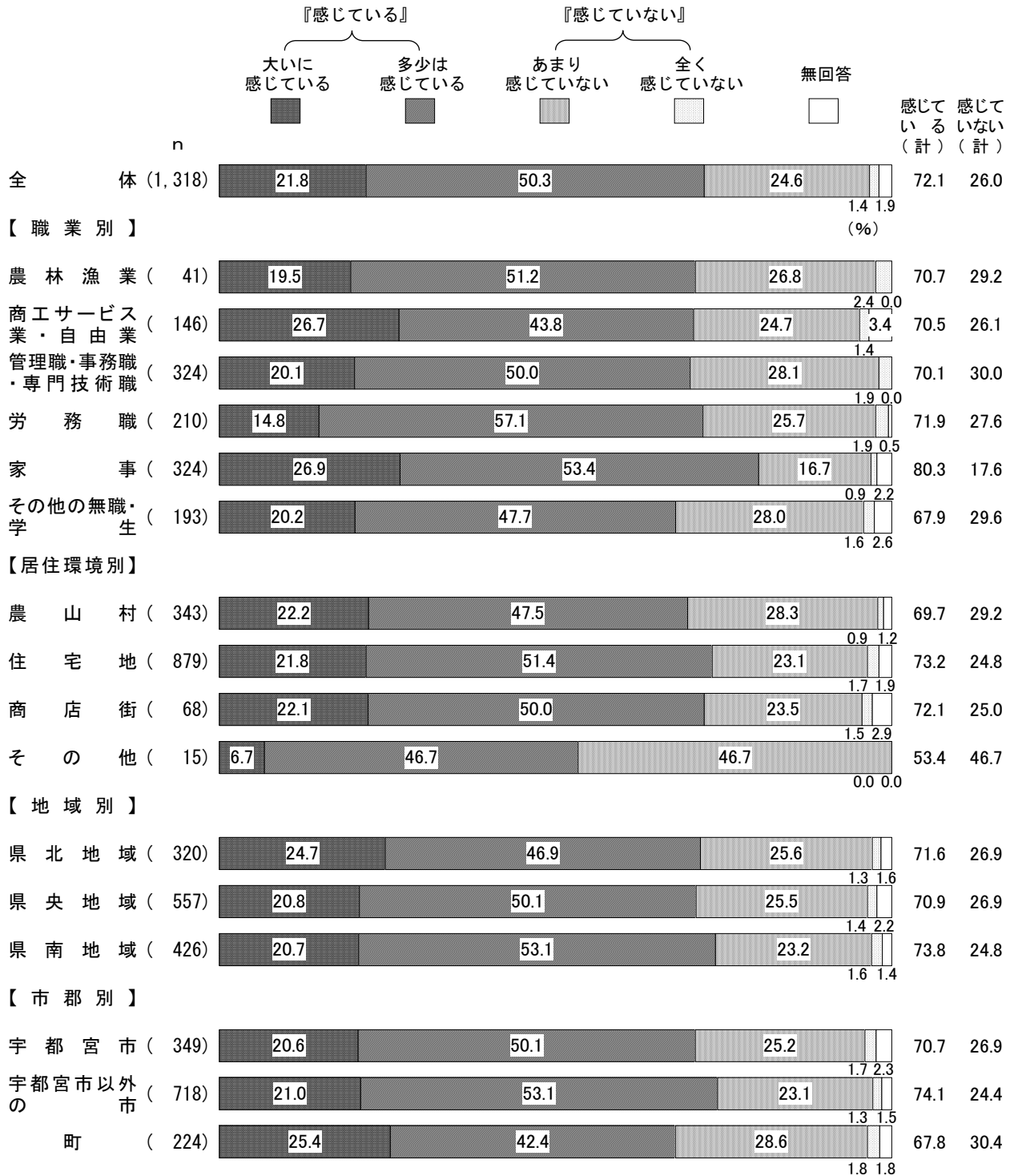
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『感じている』では〈女性〉(78.4%)が〈男性〉(66.5%)より11.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『感じている』では〈女性の30歳代から50歳代〉でいずれも8割台と高くなっている。

〔職業別・居住環境別・地域別・市郡別〕



職業別でみると、『感じている』では〈家事〉が80.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、『感じている』では〈住宅地〉が73.2%、〈商店街〉が72.1%となっており、〈農山村〉(69.7%)に比べて高くなっている。

地域別でみると、『感じている』では〈県南地域〉が73.8%と高くなっている。

市郡別でみると、『感じている』では〈宇都宮市以外の市〉が74.1%と高くなっている。

(1-1) 食品の安全性について不安に思うもの

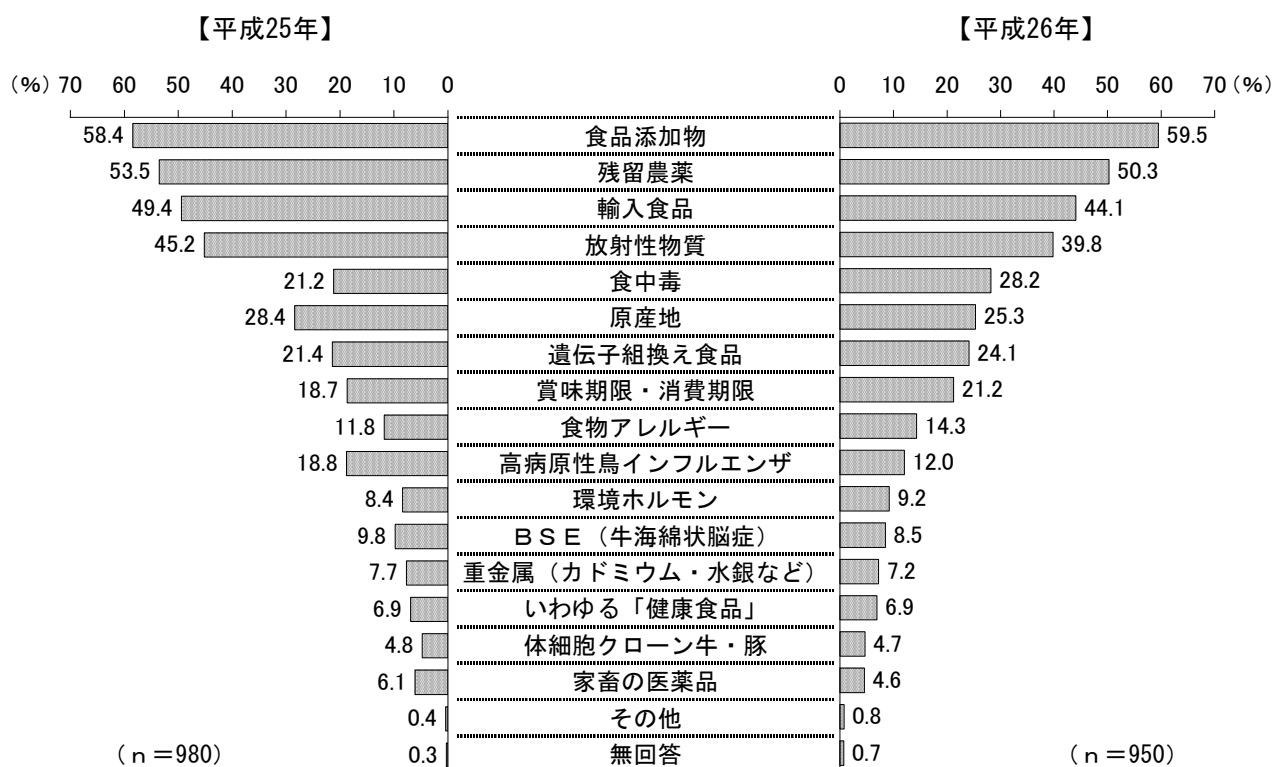
(問29で「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問29-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。

次の中から4つまで選んでください。

[n=950]

1	残留農薬	50.3%	10	重金属(カドミウム・水銀など)	7.2%
2	食品添加物	59.5	11	食中毒	28.2
3	環境ホルモン	9.2	12	いわゆる「健康食品」	6.9
4	遺伝子組換え食品	24.1	13	原産地	25.3
5	BSE(牛海綿状脳症)	8.5	14	輸入食品	44.1
6	高病原性鳥インフルエンザ	12.0	15	賞味期限・消費期限	21.2
7	体細胞クローン牛・豚	4.7	16	放射性物質	39.8
8	食物アレルギー	14.3	17	その他	0.8
9	家畜の医薬品	4.6		(無回答)	0.7

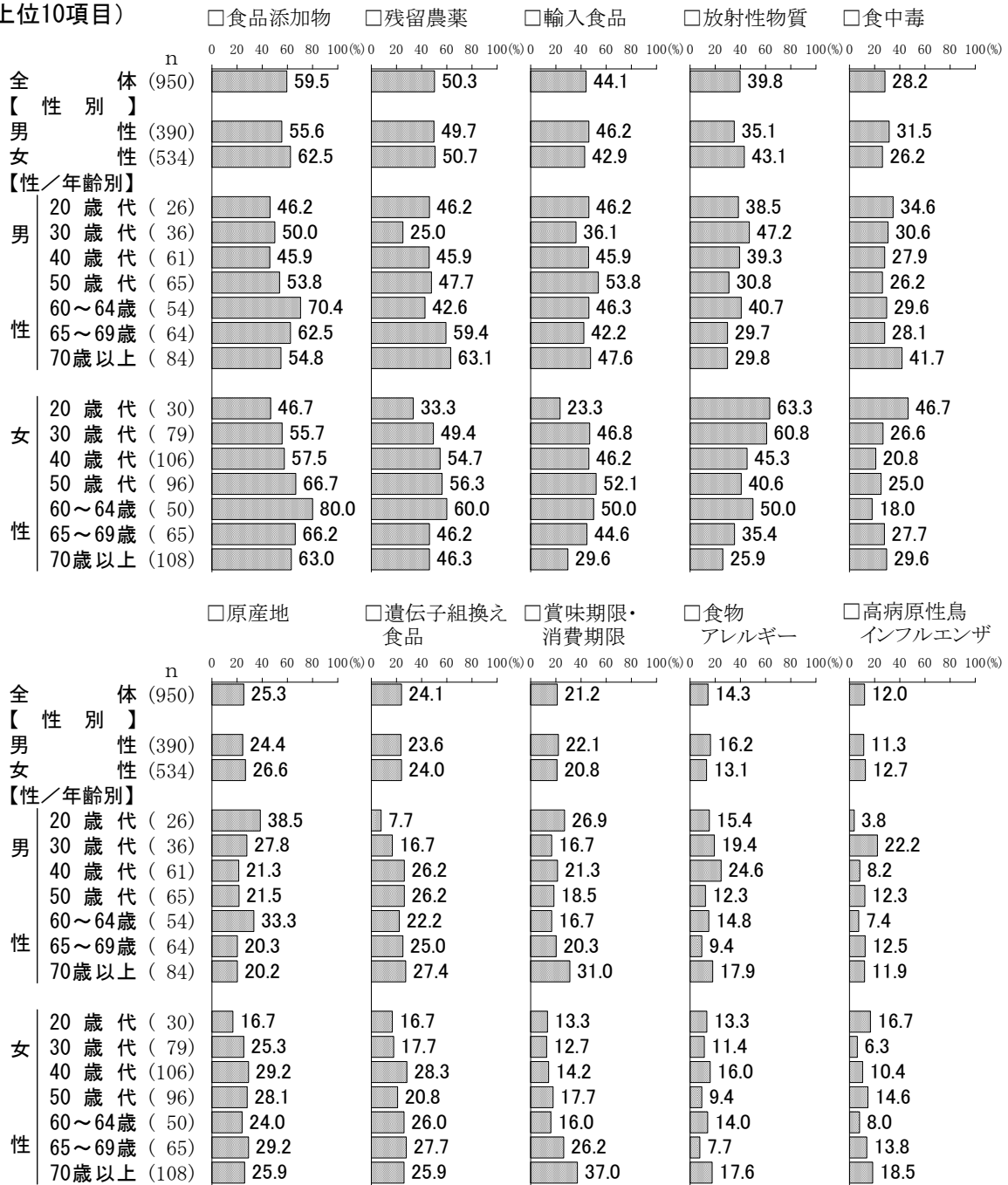


全体で見ると、「食品添加物」(59.5%)が6割で最も高く、次いで「残留農薬」(50.3%)、「輸入食品」(44.1%)、「放射性物質」(39.8%)、「食中毒」(28.2%)の順となっている。

前回(平成25年)の調査結果と比較すると、「食中毒」が7.0ポイント増加している。一方、「高病原性鳥インフルエンザ」が6.8ポイント、「放射性物質」が5.4ポイント、「輸入食品」が5.3ポイント、それぞれ減少している。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

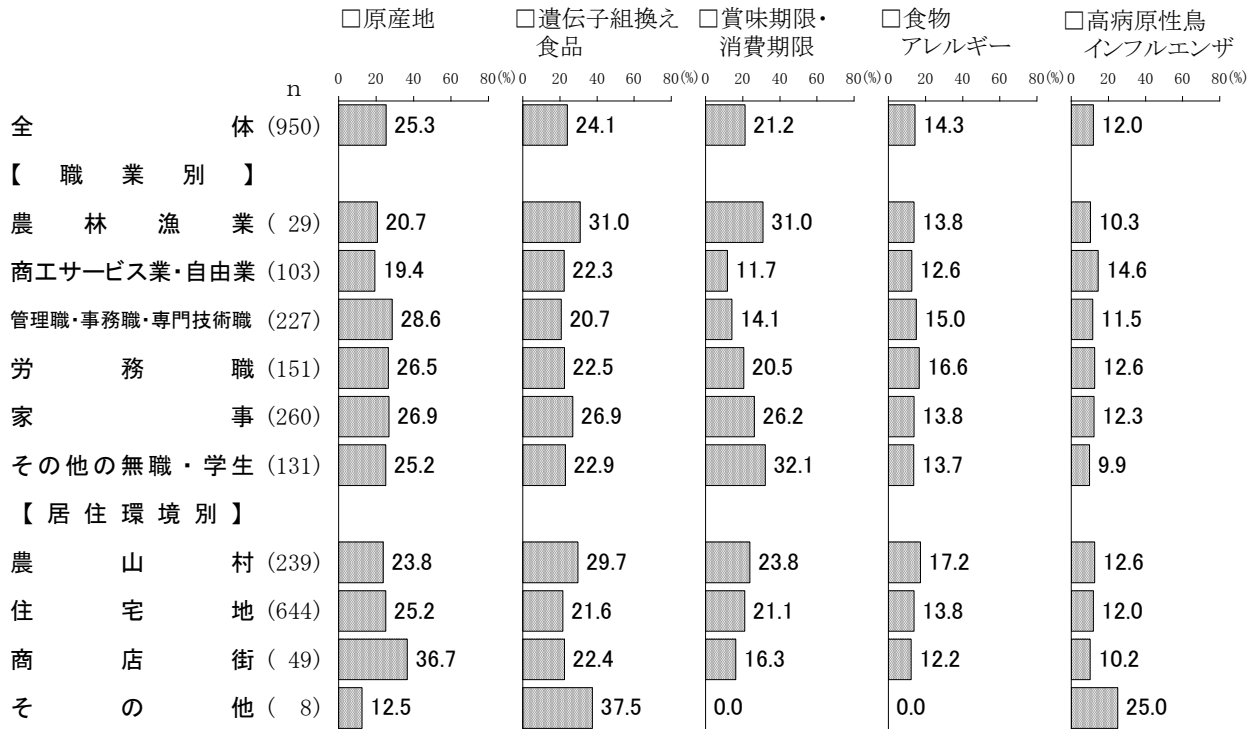
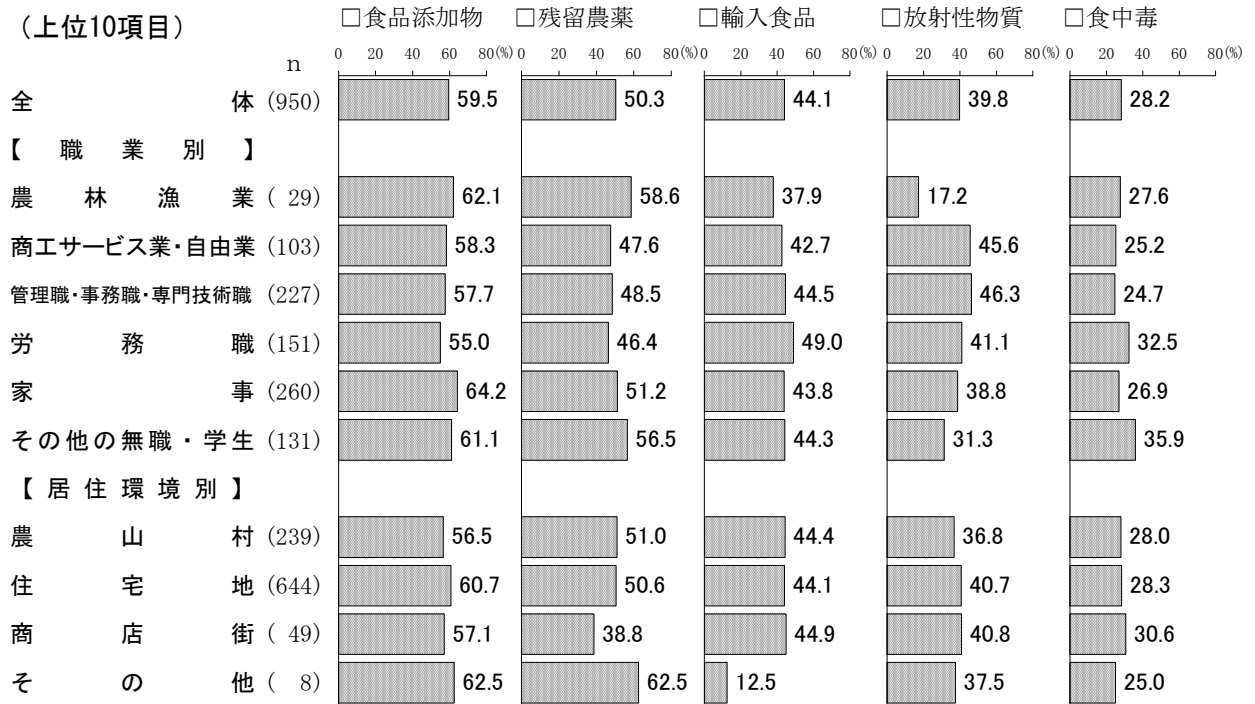


性別でみると、「放射性物質」では〈女性〉(43.1%)が〈男性〉(35.1%)より8.0ポイント高く、「食品添加物」では〈女性〉(62.5%)が〈男性〉(55.6%)より6.9ポイント高くなっている。「食中毒」では〈男性〉(31.5%)が〈女性〉(26.2%)より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「食品添加物」では〈女性60~64歳〉が80.0%と高くなっている。「残留農薬」では〈男性70歳以上〉が63.1%と高くなっている。「放射性物質」では〈女性20歳代〉が63.3%、〈女性30歳代〉が60.8%と高くなっている。「食中毒」では〈女性20歳代〉が46.7%と高くなっている。

【職業別・居住環境別】

(上位10項目)



職業別でみると、「残留農薬」では〈農林漁業〉が58.6%と高くなっている。「放射性物質」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が46.3%、〈商工サービス業・自由業〉が45.6%と高くなっている。「賞味期限・消費期限」では〈その他の無職・学生〉が32.1%、〈農林漁業〉が31.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、「原産地」は〈商店街〉が36.7%と高くなっている。「遺伝子組換え食品」は〈農山村〉が29.7%と高くなっている。

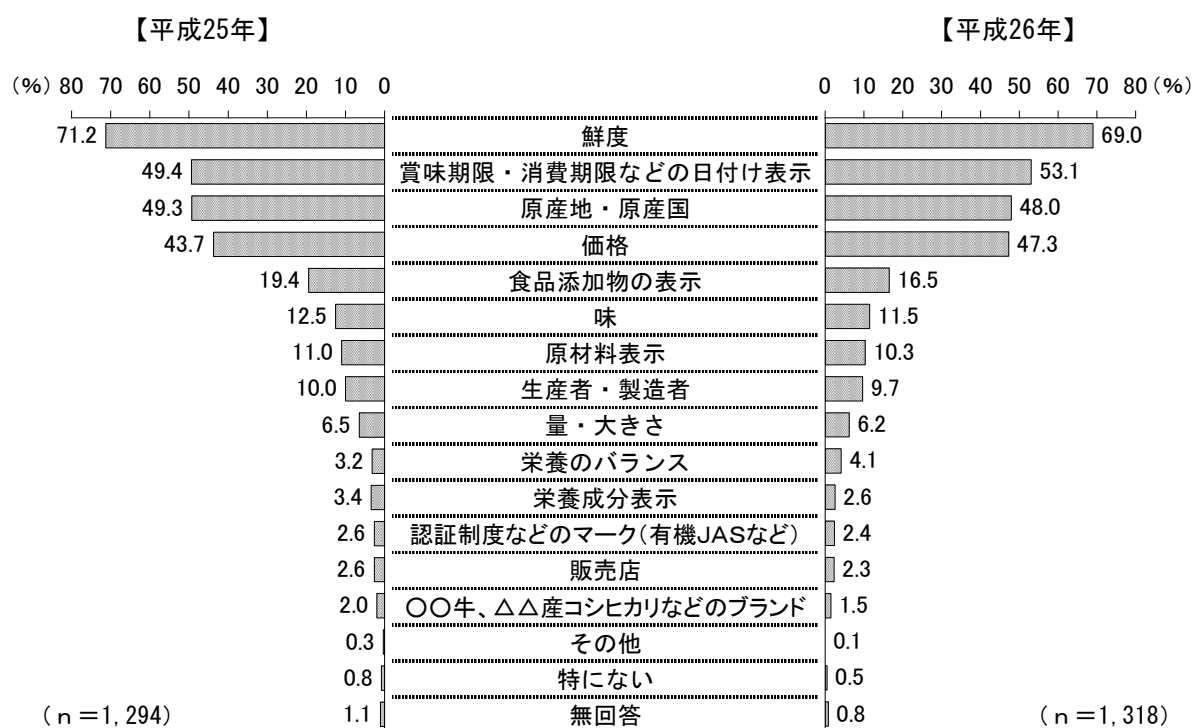
## (2) 食品を購入するときに気を付けること

問30 あなたが食品を購入するときに気を付けることは何ですか。

次の中から3つまで選んでください。

[n=1,318]

1	鮮度	69.0%	9	生産者・製造者	9.7%
2	価格	47.3	10	販売店	2.3
3	味	11.5	11	栄養成分表示	2.6
4	量・大きさ	6.2	12	栄養のバランス	4.1
5	原材料表示	10.3	13	〇〇牛、△△産コシヒカリなどのブランド	1.5
6	食品添加物の表示	16.5	14	認証制度などのマーク(有機JASなど)	2.4
7	賞味期限・消費期限などの日付け表示	53.1	15	その他	0.1
8	原産地・原産国	48.0	16	特にない	0.5
				(無回答)	0.8

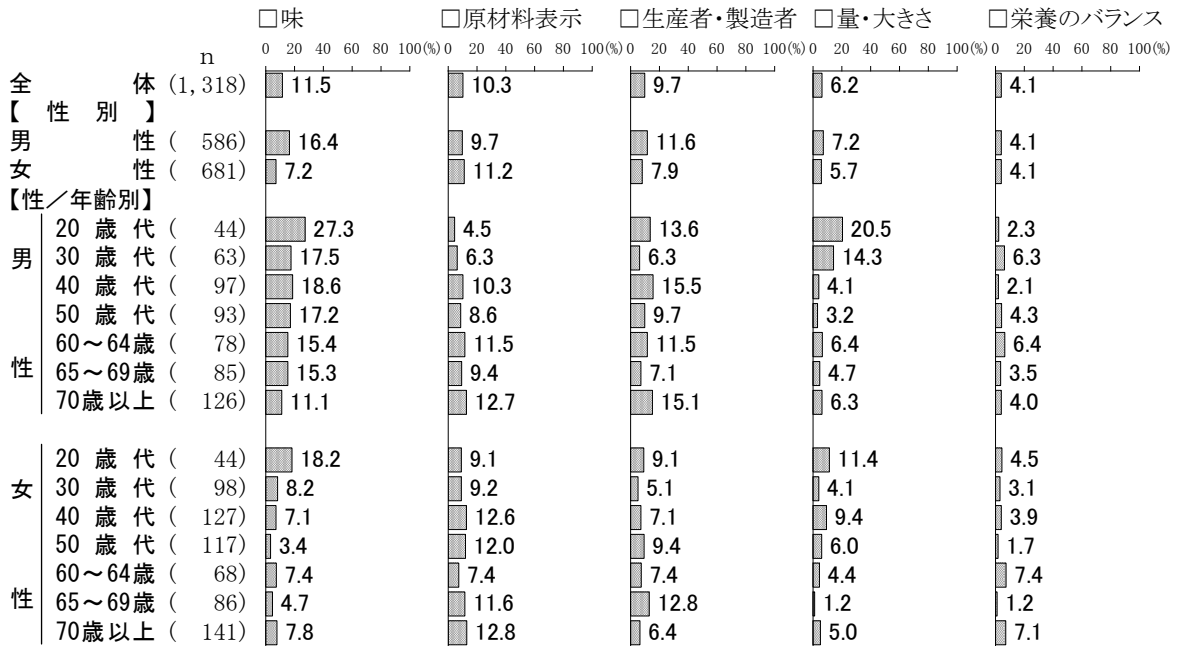
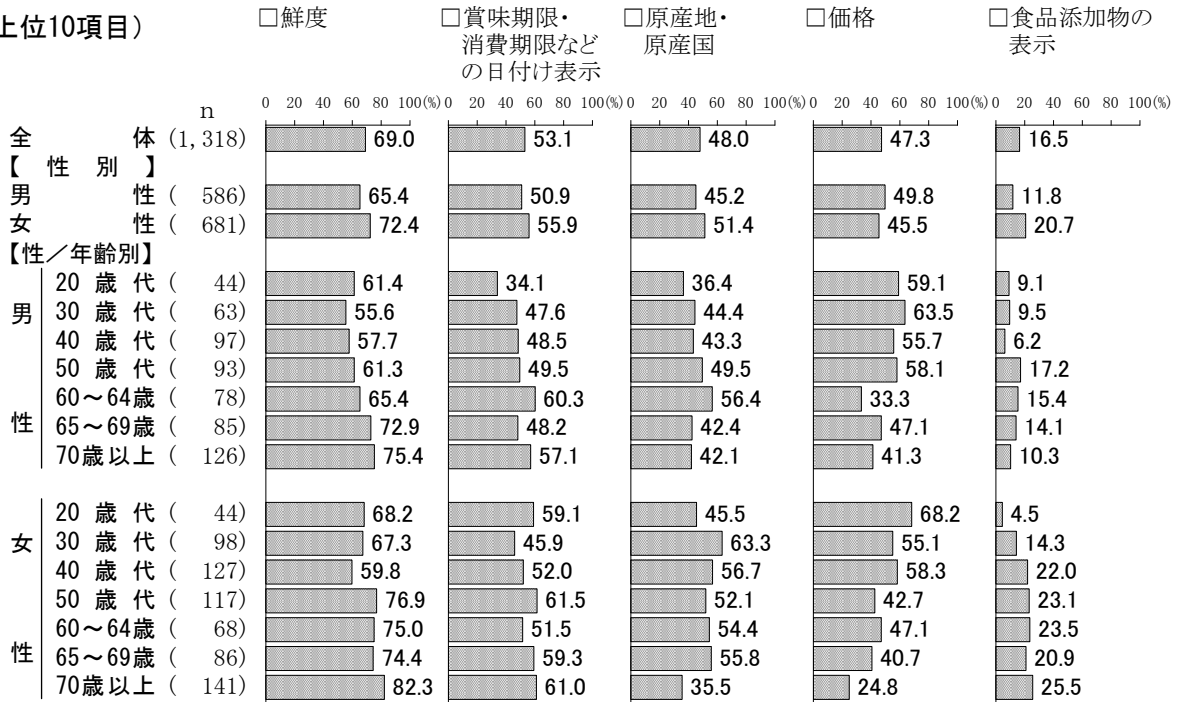


全体で見ると、「鮮度」(69.0%)がほぼ7割で最も高く、次いで「賞味期限・消費期限などの日付け表示」(53.1%)、「原産地・原産国」(48.0%)、「価格」(47.3%)の順となっている。

前回(平成25年)の調査結果と比較すると、「賞味期限・消費期限などの日付け表示」が3.7ポイント増加し、「価格」が3.6ポイント増加している。

[性別・性/年齢別]

(上位10項目)



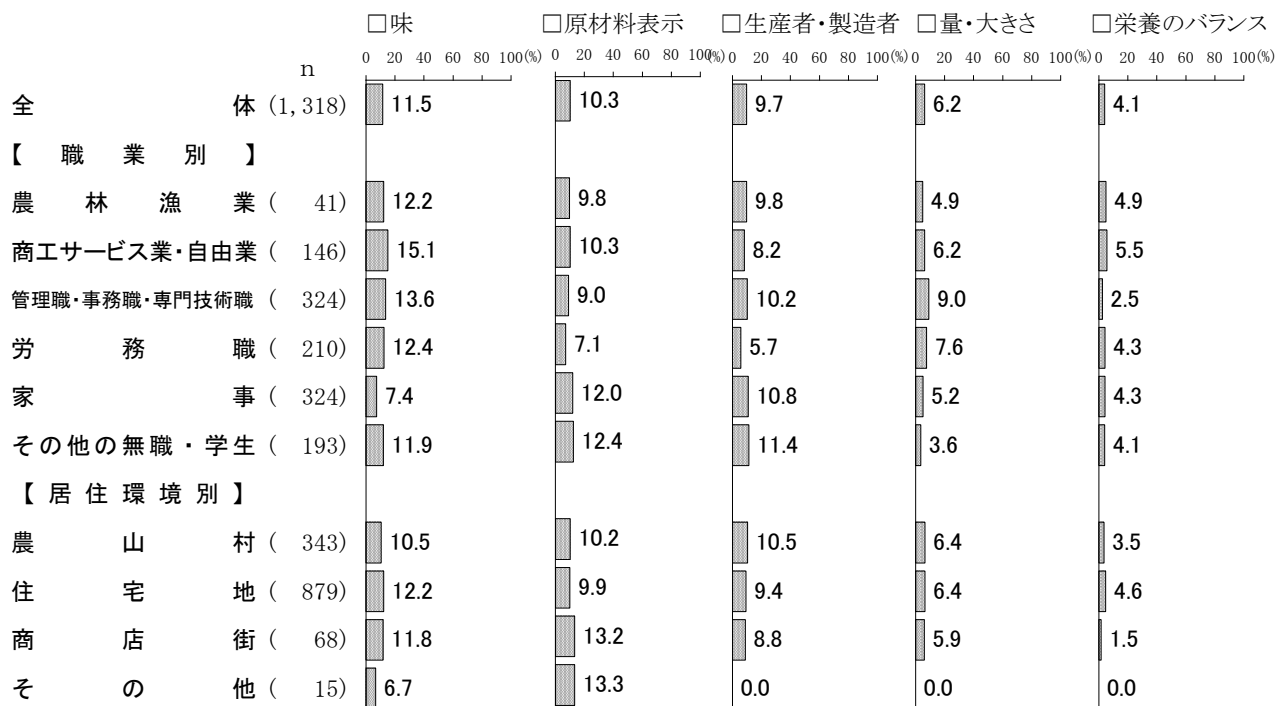
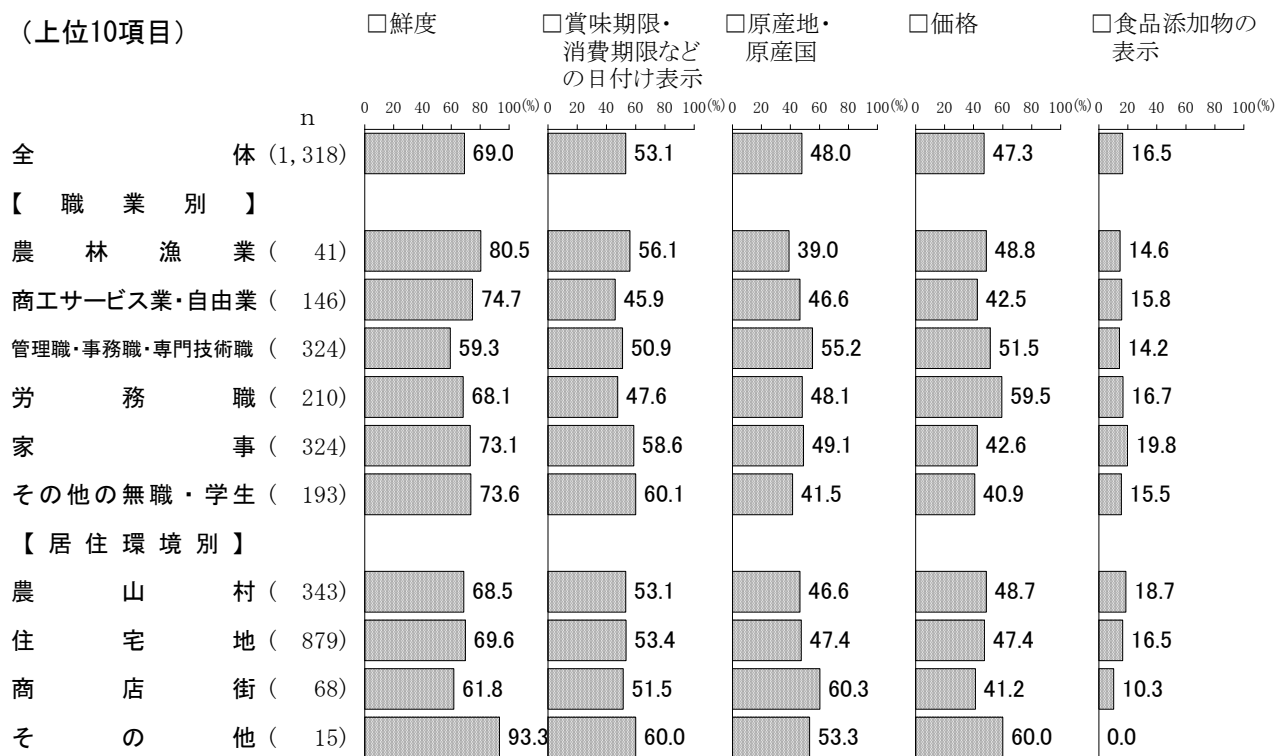
性別でみると、「食品添加物の表示」では〈女性〉(20.7%)が〈男性〉(11.8%)より8.9ポイント高くなっている。「鮮度」では〈女性〉(72.4%)が〈男性〉(65.4%)より7.0ポイント高く、「原産地・原産国」では〈女性〉(51.4%)が〈男性〉(45.2%)より6.2ポイント高くなっている。「味」では〈男性〉(16.4%)が〈女性〉(7.2%)より9.2ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「鮮度」では〈女性70歳以上〉が82.3%と高くなっている。「原産地・原産国」では〈女性30歳代〉が63.3%と高くなっている。「価格」では〈女性20歳代〉が68.2%、〈男性30歳代〉が63.5%と高くなっている。



〔職業別・居住環境別〕

(上位10項目)



職業別でみると、「鮮度」では〈農林漁業〉が80.5%と高くなっている。「原産地・原産国」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が55.2%と高くなっている。「価格」では〈労務職〉が59.5%と高くなっている。

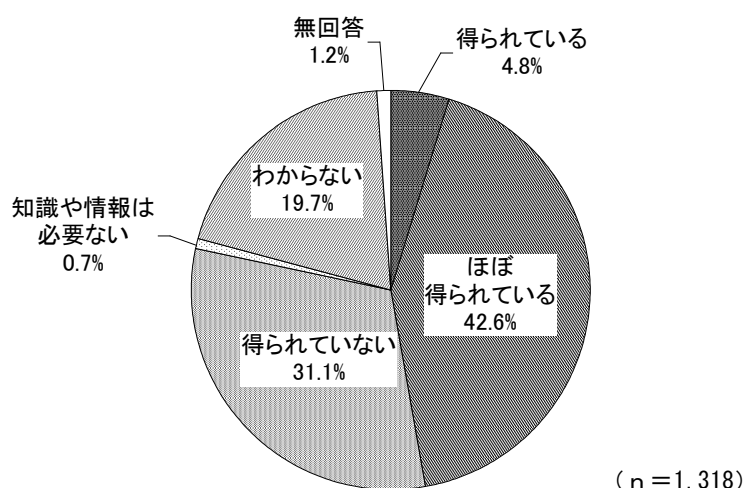
居住環境別でみると、「原産地・原産国」では〈商店街〉が60.3%と高くなっている。

### (3) 食の安全に関する知識や情報の取得

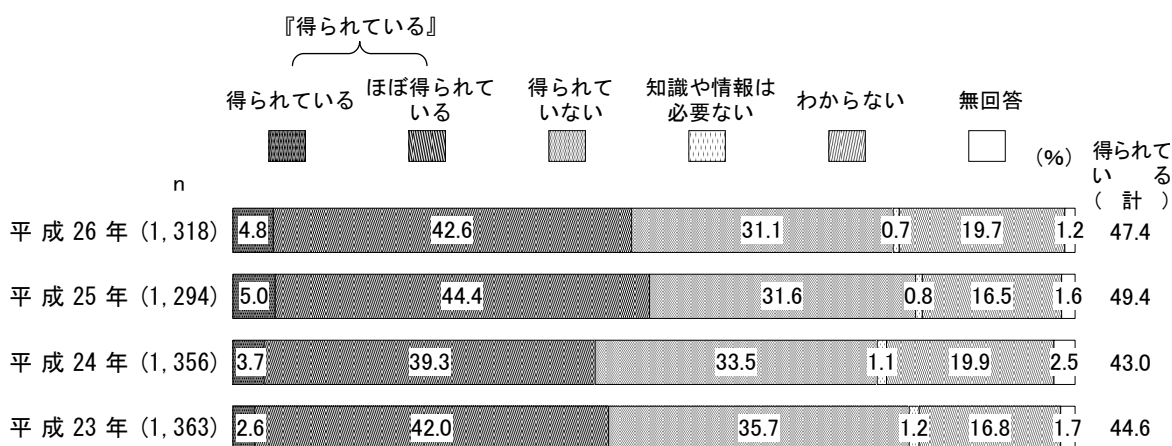
問31 あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を得られていると思いますか。  
次の中から1つ選んでください。

[n=1,318]

1	得られている	4.8%	4	知識や情報は必要ない	0.7%
2	ほぼ得られている	42.6	5	わからない	19.7
3	得られていない	31.1		(無回答)	1.2

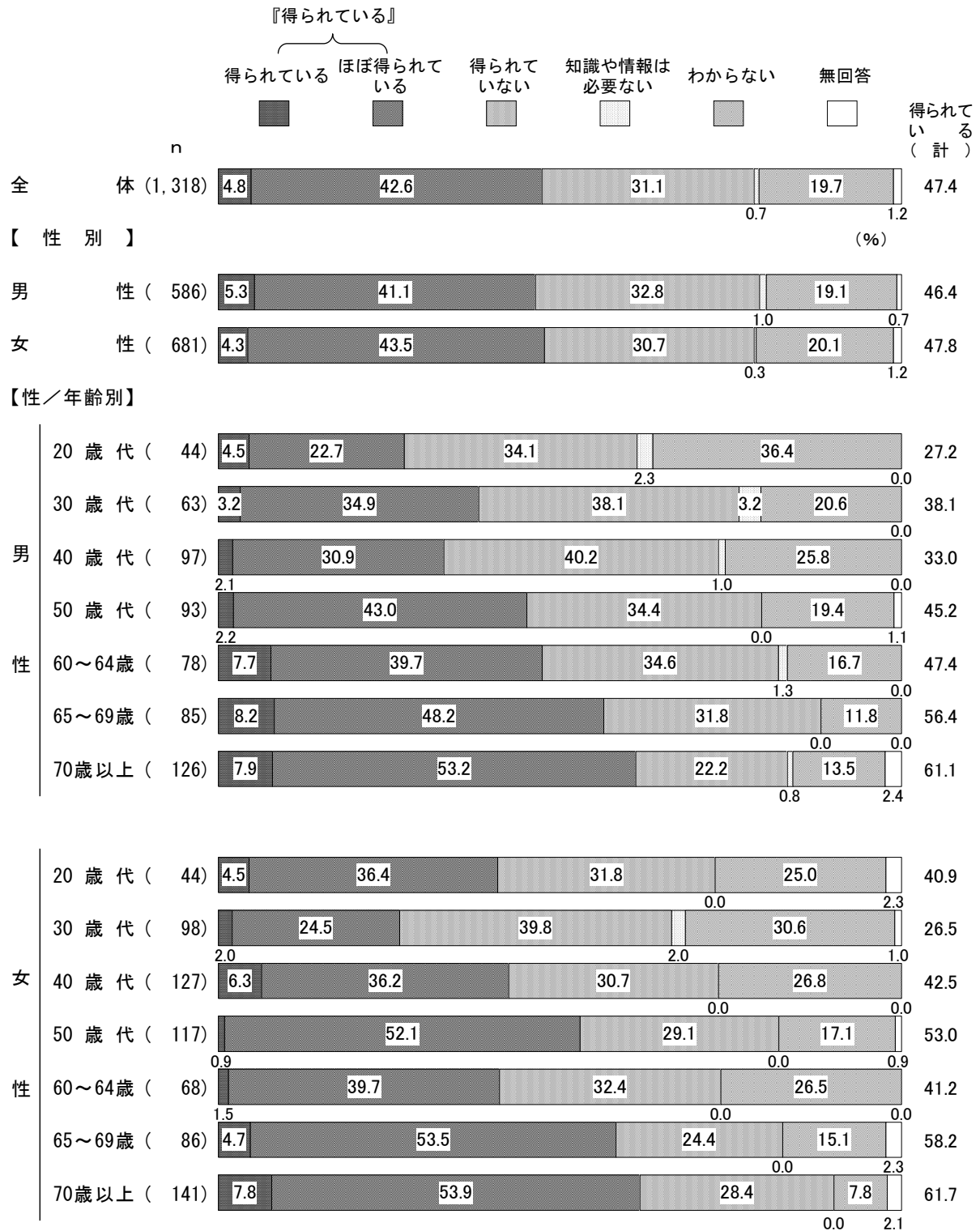


全体でみると、「得られている」(4.8%)と「ほぼ得られている」(42.6%)の2つを合わせた『得られている』(47.4%)は5割近くとなっている。一方、「得られていない」(31.1%)は3割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『得られている』が前回(平成25年)と比べて2.0ポイント減少している。

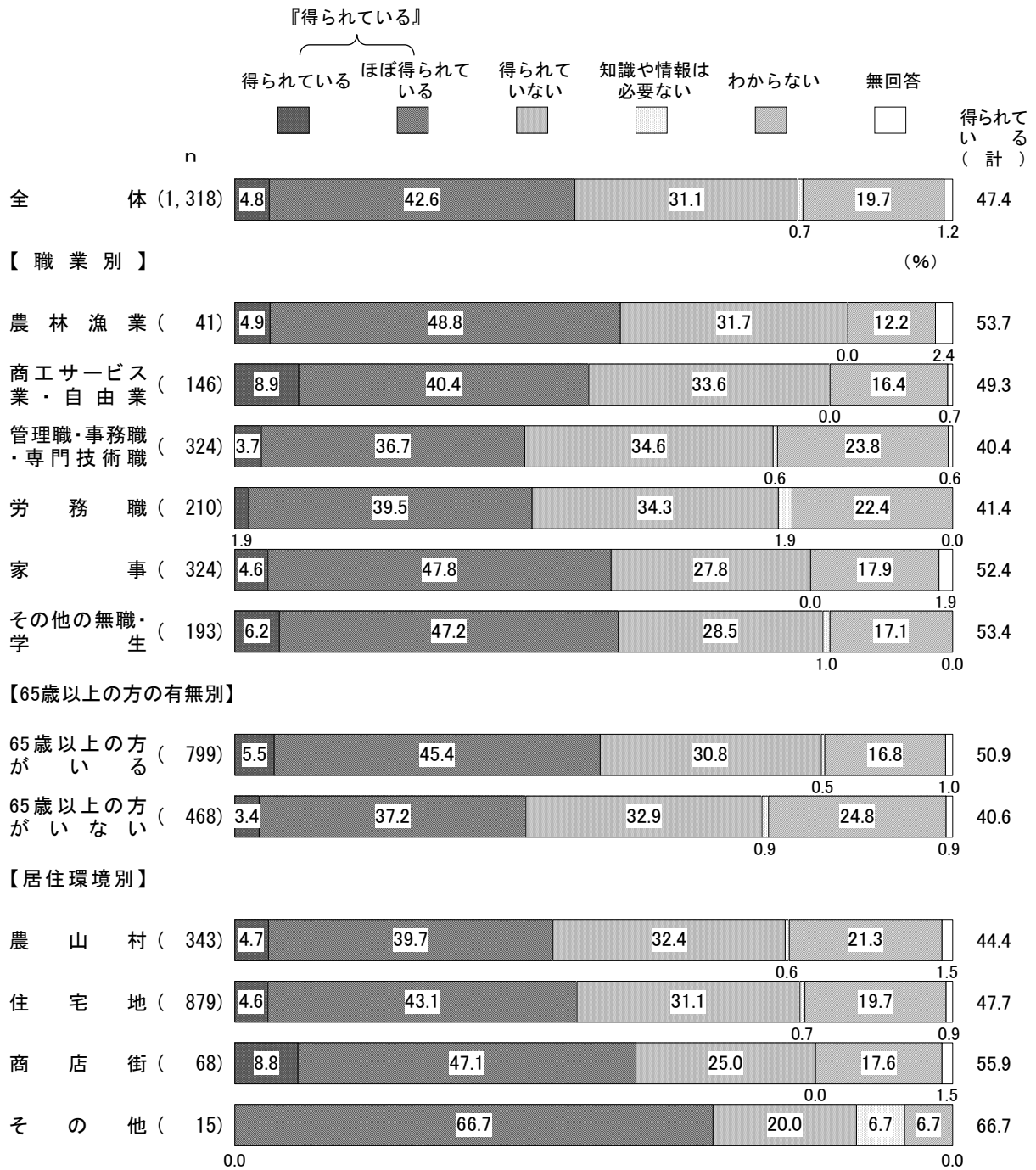
[性別・性／年齢別]



性別でみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『得られている』では〈女性70歳以上〉が61.7%、〈男性70歳以上〉が61.1%と高くなっている。「得られていない」では〈男性40歳代〉が40.2%、〈女性30歳代〉が39.8%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・居住環境別]



職業別でみると、『得られている』では〈農林漁業〉が53.7%、〈その他の無職・学生〉が53.4%、〈家事〉が52.4%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、『得られている』では〈65歳以上の方がいる〉(50.9%)が〈65歳以上の方がいない〉(40.6%)より10.3ポイント高くなっている。

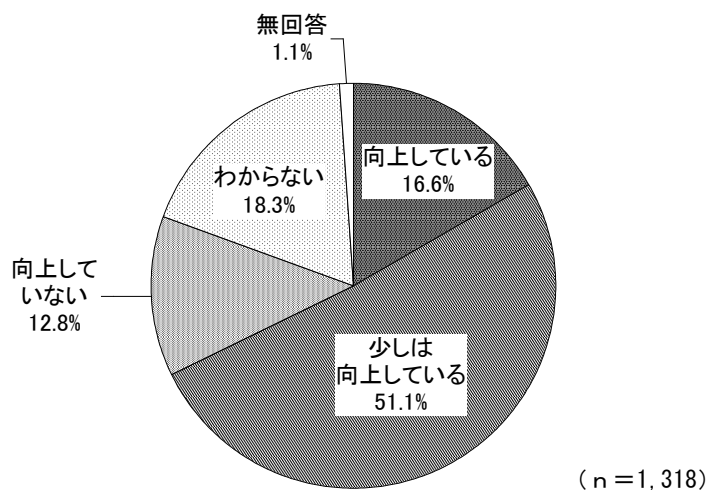
居住環境別でみると、『得られている』では〈商店街〉が55.9%と高くなっている。

#### (4) 食品の安全性の向上

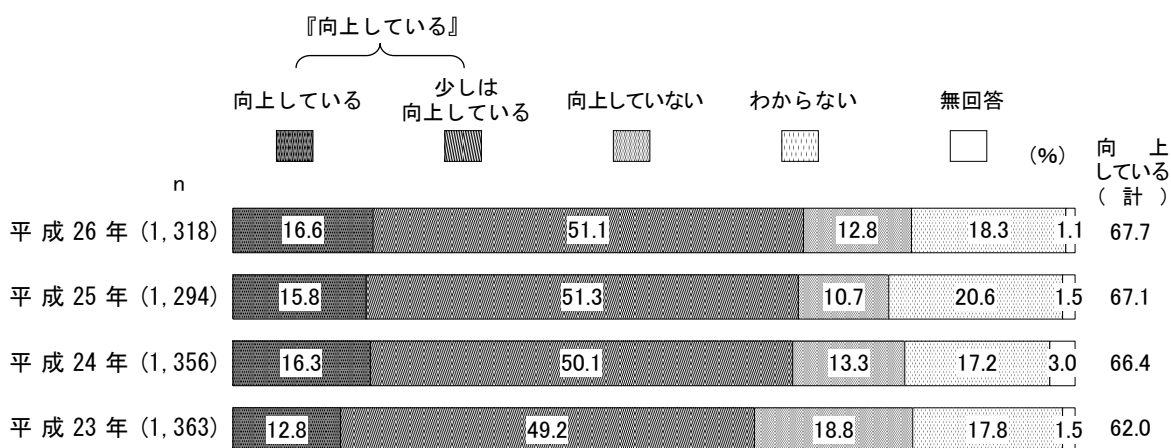
問32 食品の安全性は向上していると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,318]

1 向上している	16.6%	3 向上していない	12.8%
2 少しは向上している	51.1	4 わからない	18.3
		(無回答)	1.1

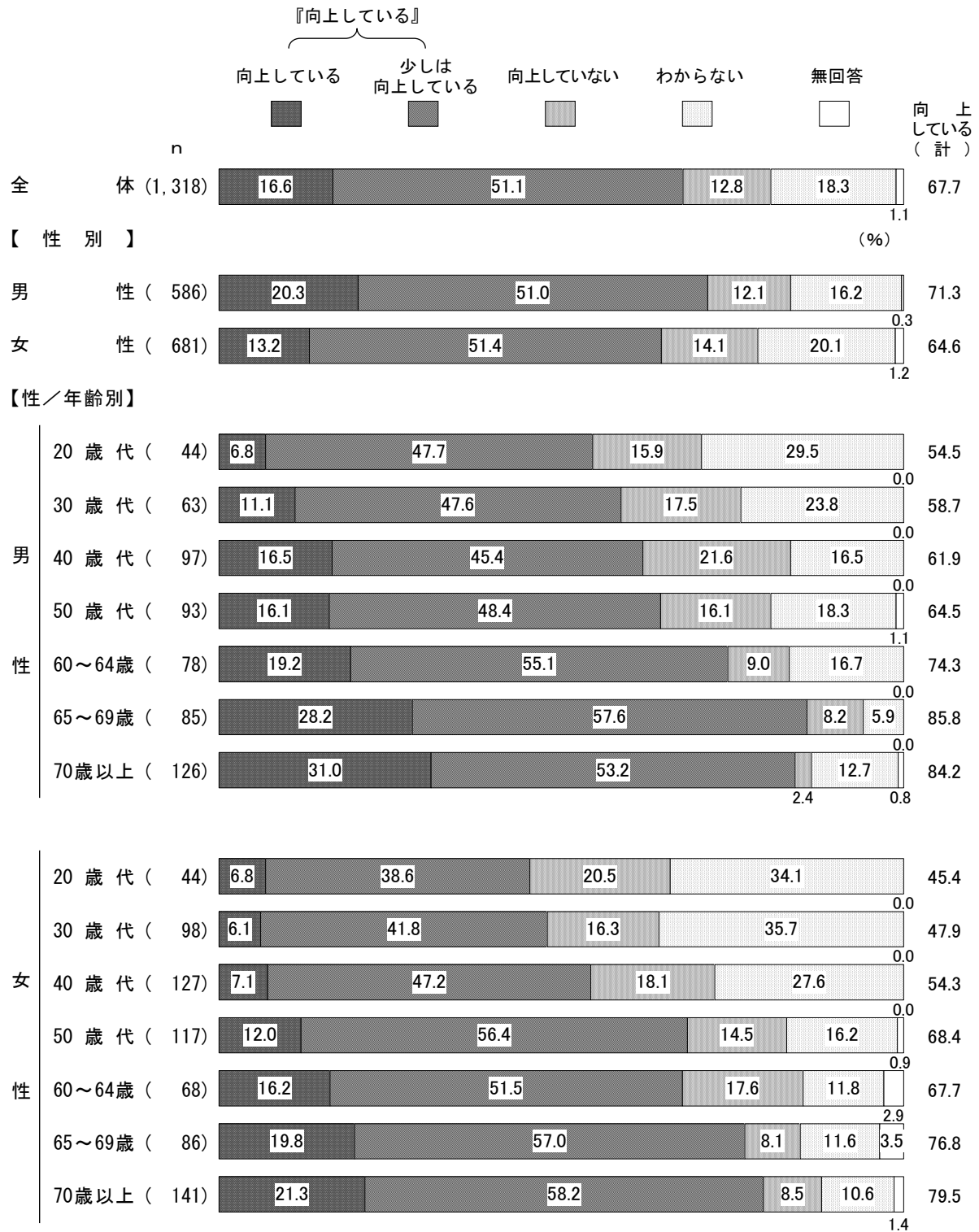


全体で見ると、「向上している」(16.6%)と「少しは向上している」(51.1%)の2つを合わせた『向上している』(67.7%)が7割近くとなっている。一方、「向上していない」(12.8%)は1割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『向上している』の割合は平成24年以降ほぼ同じ割合となっている。

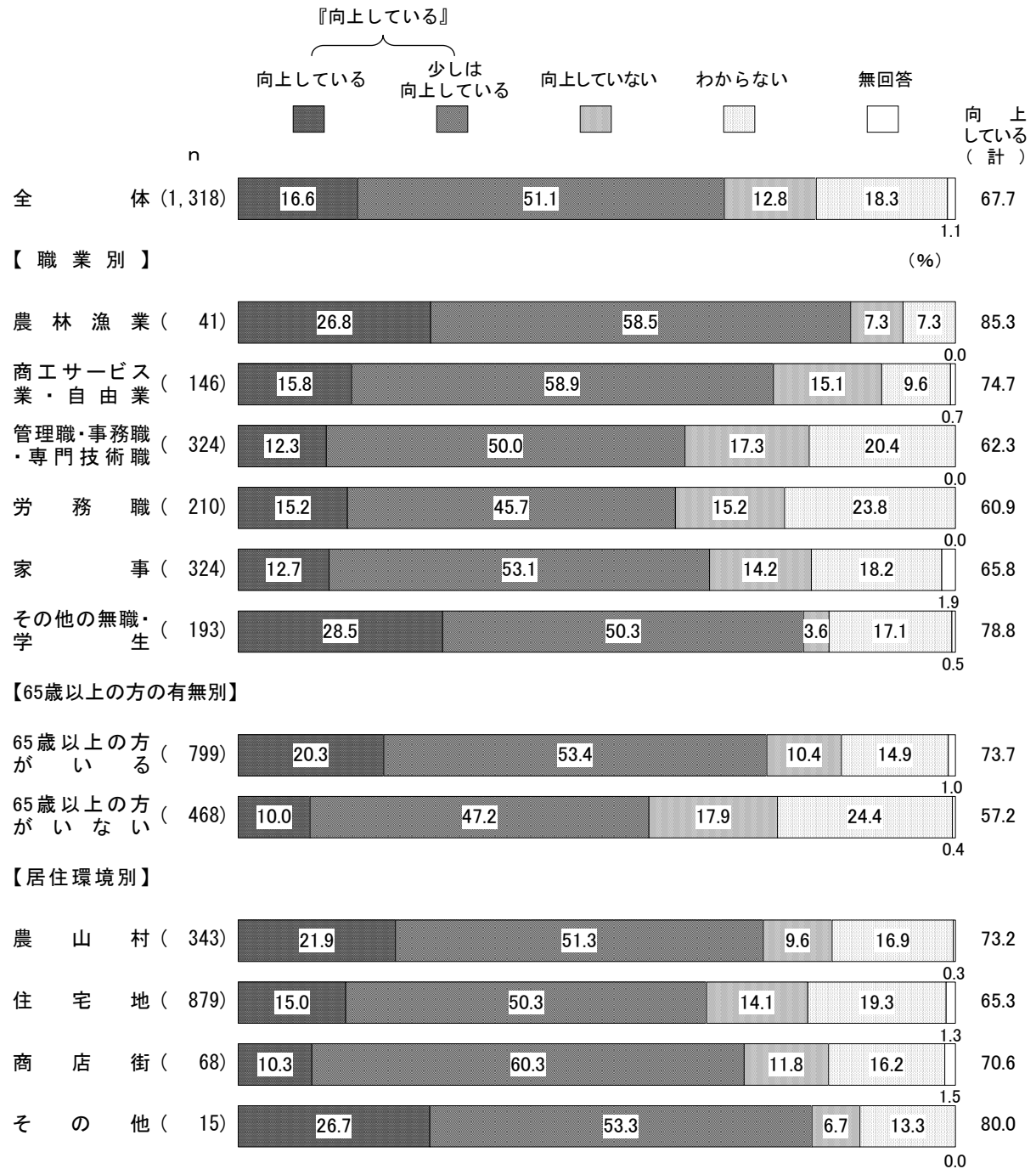
【性別・性／年齢別】



性別で見ると、『向上している』では〈男性〉（71.3%）が〈女性〉（64.6%）より6.7ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『向上している』では〈男性65～69歳〉で85.8%、〈男性70歳以上〉で84.2%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・居住環境別]



職業別でみると、『向上している』では〈農林漁業〉が85.3%、〈その他の無職・学生〉が78.8%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、『向上している』では〈65歳以上の方がいる〉(73.7%)が〈65歳以上の方がいない〉(57.2%)より16.5ポイント高くなっている。

居住環境別でみると、『向上している』では〈農山村〉が73.2%と高くなっている。